

△二〇一三年度 立教大学日本文学会委員

は、左記の通りになりました。(順不同)

教員委員

石川巧 (会長／編集〔正〕)

沖森卓也 (会計) 加藤睦 小嶋菜温

子 (編集〔副〕) 鈴木彰 (事務局長)

藤井淑禎 水谷隆之

卒業生委員

阿久津智 川村裕子 小森潔 千田洋幸

出口久徳 (監査) 宮川健郎 安原真琴

院生委員

事務担当・渡辺多加史 (チーフ)

齋藤摩祐 宮田航平 中辻智子

渡部悠太 袖林麻衣子 小林恭平

波木井優子 四方舞 川淵琴

編集担当・松田祥平 (チーフ)

泉屋咲月 本山八重子 安尾太一

提みなみ 岩崎祥子 仲井真建一

山野悟 許斐由紀子 小泉奈生子

大貫真実 大澤奈穂 竹嶋穂香

加藤健一郎 相馬真理子

△二〇一四年度 立教大学日本文学会大会
日時 二〇一四年七月五日 (土)
午後一時～

会場 立教大学・池袋キャンパス
五号館 (五三三二教室)

【研究発表】

(1) 胡新祥 「風化」についての考察

(2) 泉屋咲月 光源氏の「たぐひなし」
および「ありがたし」から見る紫の上

(3) 大竹明香 『源氏物語』松風巻に見
られる『日本書紀』引用

(4) 長谷川奈央 『逸著聞集』に見る中
世説話集の受容と再生

(5) 湯本優希 月ヶ瀬観梅紀行文におけ
る美辞麗句——トレース表現と美辞麗句

(6) 千野暁生 映画「君たちがいて僕が
いた」の批評性——「青山脈」の系譜

(7) 松本和也 川端康成「高原」連作か
ら考える文学場一面

【講演】 16 : 30

石崎等氏「漱石と落語」

投稿規定

- 一、投稿枚数は「立教大学日本文学」のフォーマットに照らして14頁(29字×50行×14頁)以内とします。
- 二、原稿は縦書きを原則とします。横書きによる掲載を希望する場合は、投稿前に必ずご相談ください。
- 三、原稿は完全清書原稿とし、注・引用その他の形式は、既刊のものに準拠してください。場合によっては体裁の統一を図らせていただきます。
- 四、原稿は手書き・ワープロ問わず、コピーを一部添えて、都合二部、お送りください。
- 五、ワープロ原稿で送られる場合は、データを rikkyohonbunbunagaku_hensyu@gmail.com にお送りください。CD-ROM、USB等での提出も可能ですが、その場合はメディア媒体の返却をいたしませんのでご注意ください。
- 六、査読担当委員は、外部の有識者を含め、会長がこれを委嘱します。
- 七、執筆者校正は論文・書評について初校のみ。ただし加筆訂正は最小限度におねがいします。
- 八、論文執筆者には掲載誌三部・抜刷四〇部を進呈します。
- 九、「立教大学日本文学」は雑誌として刊行すると同時に立教大学のリポジトリにも登録され、掲載原稿の全文をPDF化したうえでオンライン公開します。投稿された原稿については、その旨、ご承諾いただいたものとなります。ただし、論文内に用いられた写真、図版などについては、その部分に限って、原則として電子化の対象から外すこととします。
- 十、原稿のメ切り日は、五月の連休明け最初の月曜日と十一月の秋季休み明け最初の月曜日です。